



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月8日

上場会社名 シンデン・ハイテックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3131 URL http://www.shinden.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 淳  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 齋藤 敏積 TEL 03-3537-0101  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	11,467	10.2	309	633.7	289	—	187	—
29年3月期第1四半期	10,408	△16.2	42	△64.8	△98	—	△49	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 182百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △74百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	117.47	116.32
29年3月期第1四半期	△29.43	—

(注) 平成29年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であったため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	21,475	3,460	16.1	2,153.30
29年3月期	21,206	3,403	16.0	2,129.72

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 3,452百万円 29年3月期 3,395百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	90.00	90.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,208	6.2	935	11.6	748	48.9	497	37.3	309.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	1,841,200株	29年3月期	1,841,200株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	237,800株	29年3月期	246,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	1,597,502株	29年3月期1Q	1,689,500株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

1株当たり当期純利益につきましては、期中平均株式数の変動を考慮して算定しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
3. 品目別販売実績 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済につきましては、緩やかながらも成長を継続している米国経済が牽引役となり、景気低迷から脱しつつある中国経済や景気回復過程にある欧州経済等の不確実性をカバーしております。

日本経済につきましては、前年に引続き個人消費に力強さがなく、国内需要の回復感がない中で、国内の自動車需要は新型車効果により国内販売が増加し、また、アジア新興国への機械・部品等の輸出の増加傾向により、総じて回復基調にあります。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、半導体需要が旺盛な中で、車載関連需要が主導し、また、アジア新興国向けの電子部品、デバイス類の輸出が堅調であり、関連する装置ビジネスも同様に推移しております。

このような情勢の下、当社グループの業績は、半導体分野及び電子機器分野が増勢基調にあり、引続き高採算ビジネスの営業活動に注力した結果、産業用機器向け商品の販売の増加により、前年同四半期に比べ増収増益となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は114億67百万円（前年同四半期比10.2%増）、営業利益は3億9百万円（前年同四半期比633.7%増）、経常利益は2億89百万円（前年同四半期は経常損失98百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億87百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失49百万円）となりました。

品目別では、液晶分野は主力の車載用機器向けが前年より減少しており、売上高48億22百万円（前年同四半期比4.1%減）となりました。半導体分野は、メモリ市況の回復が追い風となり、委託開発案件ビジネスも計画通りに推移し、売上高41億70百万円（前年同四半期比24.7%増）となりました。電子機器分野は、異物検出機等の装置ビジネスにより、売上高16億83百万円（前年同四半期比19.9%増）となりました。その他分野は、バッテリー等の新規ビジネスの立ち上がりにより売上高7億90百万円（前年同四半期比25.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## (日本)

当第1四半期連結累計期間は、液晶分野において車載用機器向け商品が減少したものの、半導体分野における、メモリ市況の追い風の中で委託開発案件ビジネスが計画通りに推移していることと、電子機器分野における、異物検出機等の装置ビジネスの堅調な推移、その他分野における、バッテリー等の新規ビジネスの立ち上がりにより、売上高は、105億65百万円（前年同四半期比8.0%増）、セグメント利益は、2億82百万円（前年同四半期比2,435.1%増）となりました。

## (海外)

当第1四半期連結累計期間は、半導体ビジネスの増加により、売上高は9億2百万円（前年同四半期比45.0%増）となり、セグメント利益は37百万円（前年同四半期比54.2%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産

総資産は214億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億69百万円(1.3%)増加しました。主な要因は、商品が16億69百万円(39.8%)、その他の流動資産が2億52百万円(50.9%)増加したこと、現金及び預金が15億93百万円(21.6%)、受取手形及び売掛金が62百万円(0.7%)減少したことによるものであります。

## ② 負債

負債は180億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億12百万円(1.2%)増加しました。主な要因は、買掛金が9億61百万円(16.9%)増加したこと、有利子負債が6億83百万円(6.0%)、未払法人税等が90百万円(55.4%)減少したことによるものであります。

## ③ 純資産

純資産は34億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ57百万円(1.7%)増加しました。主な要因は、利益剰余金が44百万円(2.0%)増加したことによるものであります。

## ④ 経営指標

流動比率は、前連結会計年度末とほぼ同水準の153.2%となりました。自己資本比率は、利益剰余金の増加による純資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ0.1ポイント増加し16.1%となりました。有利子負債対純資産比率は3.1倍となり、前連結会計年度末に比べ0.3ポイント減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中国経済が過剰生産と在庫の調整局面から脱し回復に向かいつつあり、低成長ながらも世界の経済成長に影響を及ぼし、内需拡大型の経済地域としての成長が見込まれます。また、欧州における国家の財政破綻の恐れや難民問題を含め課題が多いものの、回復の方向にあります。アジア新興国や欧州向けの輸出の増加により日本経済も好転していくことが予測されます。

エレクトロニクス業界全般としては、目下、メモリの供給不足の状況にありますが、今後も着実に成長を続けることが予測されます。このような環境の下、当社グループは、産業用機器向け及びバッテリー等の新規ビジネスの開拓と既存のビジネスの深堀に注力し、売上及び利益の拡大を図ってまいります。

現段階は、昨今の半導体の増勢及び、装置ビジネスの新規受注を受け、順調に推移する見込みであります。通期業績予想につきましては、その他の新規ビジネスの受注確度や増減要因を含め、策定した計画の進捗を総合的に管理し分析を行っております。

従いまして、現段階においては平成29年5月11日に公表いたしました通期業績予想に変更はありませんが、業績予想の修正を要することが判明した場合は、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,366,016	5,772,291
受取手形及び売掛金	8,925,652	8,863,105
電子記録債権	960	6,150
商品	4,191,197	5,860,784
その他	495,581	747,813
貸倒引当金	△25,735	△25,676
流動資産合計	20,953,673	21,224,467
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	5,018	6,070
その他(純額)	6,776	8,366
有形固定資産合計	11,795	14,437
無形固定資産		
ソフトウェア	57,211	56,389
その他	1,311	1,311
無形固定資産合計	58,522	57,700
投資その他の資産		
差入保証金	174,932	174,693
その他	7,133	4,505
貸倒引当金	△5	△1
投資その他の資産合計	182,060	179,197
固定資産合計	252,378	251,335
資産合計	21,206,051	21,475,803
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,691,824	6,652,844
短期借入金	3,818,115	3,137,925
1年内返済予定の長期借入金	3,333,751	3,457,299
1年内償還予定の社債	70,000	70,000
未払法人税等	164,031	73,092
賞与引当金	90,998	41,655
その他	345,200	418,619
流動負債合計	13,513,921	13,851,436
固定負債		
社債	120,000	90,000
長期借入金	4,147,681	4,050,408
退職給付に係る負債	20,147	20,553
その他	747	2,829
固定負債合計	4,288,576	4,163,790
負債合計	17,802,498	18,015,227
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	993,136	993,136
資本剰余金	673,636	674,674
利益剰余金	2,178,947	2,223,111
自己株式	△465,140	△448,177
株主資本合計	3,380,580	3,442,744
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	15,041	9,850
その他の包括利益累計額合計	15,041	9,850
非支配株主持分	7,931	7,980
純資産合計	3,403,553	3,460,575
負債純資産合計	21,206,051	21,475,803

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	10,408,136	11,467,692
売上原価	9,876,318	10,608,007
売上総利益	531,818	859,684
販売費及び一般管理費	489,648	550,290
営業利益	42,169	309,394
営業外収益		
受取利息	135	117
仕入割引	4,133	1,542
為替差益	—	20,503
その他	2,903	4,773
営業外収益合計	7,172	26,936
営業外費用		
支払利息	33,895	39,571
債権売却損	8,188	6,961
為替差損	104,662	—
その他	1,469	30
営業外費用合計	148,216	46,563
経常利益又は経常損失(△)	△98,873	289,767
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△98,873	289,767
法人税、住民税及び事業税	4,520	65,296
法人税等調整額	△53,666	36,810
法人税等合計	△49,145	102,107
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△49,728	187,660
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△49,728	187,660

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△49,728	187,660
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△24,379	△5,141
その他の包括利益合計	△24,379	△5,141
四半期包括利益	△74,108	182,518
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△73,740	182,469
非支配株主に係る四半期包括利益	△367	48

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 3. 品目別販売実績

品目別	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)		増減率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
液晶	5,030,044	48.3	4,822,938	42.0	△4.1
半導体	3,345,539	32.2	4,170,483	36.4	24.7
電子機器	1,404,548	13.5	1,683,562	14.7	19.9
その他	628,004	6.0	790,708	6.9	25.9
合計	10,408,136	100.0	11,467,692	100.0	10.2

(注) 当連結グループの事業は、半導体及び電子部品の販売事業の単一事業であるため、品目別の販売実績を記載しております。